

Shin Club 21

㈱辰 通信 Vol. 21
December 2001年
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-24-4-7f
Phone: 03-3486-1570 Fax: 03-3486-1450

今月のトピック 「打ち放しコンクリート」

打ち放しコンクリートの建物は、そのむき出しの素材を活かした風合いが、日本人好みといわれています。また建物の形に対しての自由度が高いので、施主であれ設計者であれ、デザインにこだわる人々にとっては格好の素材です。一方、火事、地震、風雨などの災害に対しても、鉄筋コンクリートは何といっても安心な建物なのです。弊社も今まで数多く施工させていただいています。

そんなコンクリートですが、60年の寿命といえども、修繕不要というわけではなく、それぞれの部位で周期的に補修を行うなど管理は必要です。酸性雨、大気汚染などの最近の環境の厳しさは予想以上のものがあります。(気象データを見る限りは、ここ数年で急に悪化したわけではありません)その地域に特別な原因(例えばグラウンドなどの埃が多い場所、幹線道路の近くなど)もあります。中性化することで爆裂を誘うなどデリケートな素材でもあるのですから、施工時はもちろん、施工後も十分注意を払わなくてはなりません。

最近、既存のコンクリート住宅の汚れ落としや、クラック等の補修、デザイン変更の改修工事をいくつか行いました。また、建物の耐震診断、長期修繕計画の相談も受けています。建物の寿命からくる老朽化防止の意味もありますが、建物の社会的な価値を補い向上させるという要請も出てきました。世の中が不景気になり、身の回りの雑貨・家具・家電はもとより、建物も今までのように簡単に壊して建て直すより、長く大事に使うという状況が顕著になってきました。

先月、世田谷のO邸というところで、外壁の汚れ落としと、今後雨漏りが予感されるクラックが見つかったので、外壁の改修工事を実施しました。

築5年ほどですが予想以上に汚れが早かったのです。施工当時は、打ち放しコンクリートの仕上げにはこのO邸と同様、浸透性吸水防止材「アクアシール」だけを使用している

現場がほとんどでした。アクアシールはシリコン系シラン化合物ですが、最近は、より良いものがさらに開発されています。そのためアクアシールは下地用防水材として塗装し、その上に「ランデックスコート」(複合系塗料)や「ボンフロンコート」(水性フッ素樹脂塗料)などの打ち放し用コンクリートの保護材を塗装するところが増えてきました。しかし、これも永久的にというものではありませんから、撥水性が落ちてくれば、そのたびに再塗装を行う必要があります。

神宮前のGWビルでは、施工後10年、改造した部分を新築時の仕様に戻しました。1階部分の躯体の変更に加え、打ち放し部分の再塗装、部分的に舗道ブロックを新しいものに変えました。躯体工事、外壁補修はキクスイSA工法を採用、仕上げ面はコンクリートの質感を損なわない美しいもので、水性シラン系防水剤と水系アクリルシリコン樹脂との複合による完全水系工法が環境、施工者にやさしいというものです。また屋上のタケイ式コンクリート防水を施した部分のひび割れの修復、タケイ式防水剤の再塗布も行いました。施工時と同じタケイに工事を依頼しましたが、非常に行き届いた施工を行っている老舗の業者さんです。

一般に打ち放しコンクリートの補修において、不具合の一番の要因となっているのは、施工におけるコンクリート管理や段取りの悪さです。結果的にジャンカやコールドジョイントの発生につながります。現場管理者が、業者さんの施工マニュアルに沿ったきちんとした対応を行うことが求められています。

そして、防水性能などは建物そのもののデザインにも大きく左右されます。躯体に凹凸が多ければ、それだけその部分に雨水がたまりやすく、また排水用ドレインの位置が高かったり、配管設備周囲ににに適した防水施工が施されていないなど、設置する設備と防水施工がマッチしていないと不具合が必ず起きます。

施工の前の入念な打ち合わせを行うことが設計者、施工者には求められています。



GWビル屋上施工前／ところどころクラックの補修が行われている

改修後、全体的に美しく仕上がる

TOPICS

「GWビル 改修工事」 (12月1日) 渋谷区

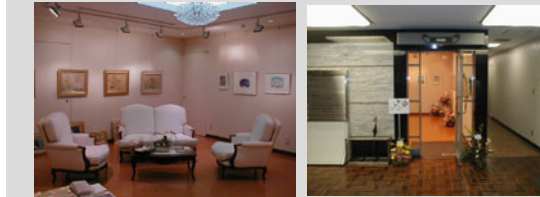
RC住宅&店舗の改修工事です。屋根の防水施工、クラック補修、外壁の塗装、舗道ブロックの施工などを行いました。

改修設計: ㈱松屋



「東銀座 ポンナカストラ」 改修工事 (12月5日) 中央区築地4-1-17 銀座大野ビル1F

創業28周年、チーズフォンデュで有名なレストラン「ポンナカストラ」の拡張及びリニューアル工事が完了しました。近くには歌舞伎座、東劇、松竹本社、新橋演舞場などがあり、ビルの裏小路にひっそりとたたずむ「隠れ家」的なレストランとして、根強いファンがいるお店です。オーナーはビルの表通り側のギャラリーも所有していますが、そちらの面積を縮小し、レストランの収容客数を倍に増やしました。お客様のために営業は続けたまま、工事を行っていきます。リニューアルギャラリーは、銀座の中心街に比べ料金が手ごろで、こじんまりとしたスペースが利用しやすいとのこと。ギャラリー利用者のオープニングパーティやレセプションにレストランを利用できるように、隣接する部分に扉を設置しました。



「K邸 上棟式」 (12月1日) 多摩市

木造住宅です。お施主様のお兄様ご夫婦も出席され、アットホームな雰囲気の中での上棟式になりました。



INFORMATION

● 内覧会のお知らせ

川崎の港町に 1,000 坪の「倉庫+オフィスビル」が竣工いたします。ガルバリウム鋼板折板と成型セメント板で包まれた、長さ56m 幅16m 高さ26m の巨大な箱。標準的な工場仕様の素材とカラフルな建具の組み合わせで、工場地域らしからぬ電化製品のような建物に仕上がりました。色使いがとてきれいです。つきましては、下記の2 日間内覧会を開催いたしますので是非ご来場ください。



日時: 2001年 12月15日(土) 13:00~17:00
12月16日(日) 11:00~17:00

場所: 神奈川県川崎市川崎区港町8-2
設計: アーキウィル石崎建築設計
施工: 株式会社 辰
交通: 京急大師線 港町駅より 徒歩2分
※お問い合わせ
弊社施工担当: 岩泉まで

● 冬期休暇 12月29日(土)~1月3日(木)

